

	<p>(2)「子育て・教育環境を向上させ、大磯に来てくれる子育て世代を増やしたい」について</p> <p>「子育て・教育環境の向上」を柱の一つに掲げ、中学校給食の実施や小・中学校の校舎を綺麗にしたり、医療費支援、インクルーシブ教育の推進など、「おおいそ子ども・子育て応援アクションプログラム」と題し、さまざまな取組みを掲げられている。さらに、「妊娠・出産・産後への取組み」を含め、どのような考えを持っているか伺う。</p> <p>特にその中でも産後ケアへの支援については、子育て世代の転入増加を目指す取組みとして大変重要な取組みと思うが、そのための取組みに関する考えを伺いたい。</p>	
<p>3</p> <p>11 番 高橋 英俊議員 (40 分) 13:00～13:40</p>	<p>1. 新町長が掲げるまちづくりについて</p> <p>市街化調整区域の見直しについては、おおむね5年に一度行われ、都市計画法に基づき都道府県が行うものであり、町の考えだけにより市街化調整区域から市街化区域への変更は不可能と思われる。</p> <p>何のために見直しが必要となり、現実的に実行に移す目途はあるのか。</p> <p>2. 新町長の経営感覚を問う</p> <p>大磯町の財政状況をどのように認識されているか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>4</p> <p>15 番 渡辺 順子議員 (80 分) 14:00～15:20</p>	<p>1. 政治家としての信条を問う</p> <p>県議会議員から数々の政策を掲げて町長に当選されたが、立候補の挨拶では「政策は今まで皆さんから要望としていただいたものばかりです」と書かれていた。議員としてまた町のリーダーとしての政治信条に違いはあるか伺う。</p> <p>2. これからのまちづくりに必要な対策は何か</p> <p>現在、食料やエネルギー価格高騰によって家計の負担が増加する一方で、来年度は防衛費増額の財源として増税も予想されている。安心して暮らせる大磯をつくるために、地方自治体として今後どのような対策が必要と思うか。</p> <p>3. 政策集（公約）について</p> <p>政策集から以下4点について、総合計画や関連計画、行政の継続性、財政状況や財源確保、町民合意などを踏まえて伺う。</p> <p>(1)「おおいそ子ども・子育て応援アクションプログラム」の幼児教育・保育の改善の内容と、9項目を実施する構想と展望。</p> <p>(2) 現庁舎の耐震強度などを精査し、耐震補強なども探りながら現在の建替え計画を見直すことについて。</p> <p>(3) 再生可能エネルギー導入促進の具体策は。</p> <p>(4) 大磯徳洲会病院（仮称）産婦人科、小児科再開の進め方は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>5</p> <p>13 番 鈴木たまよ議員 (80 分) 15:40~17:00</p>	<p>1. 学校給食について</p> <p>池田町長の政策集で、「子育て・教育環境の向上」がトップに挙げられていた。その中でも最上位に挙げられていた中学校給食については自校式と決まったものの、その後、学校施設の老朽化等の問題もあり、現在保留となっている。中学校給食を早期に開始してほしいという声がある一方で、小学校の給食施設も老朽化していることから、今後の学校のあり方を含め、もっと広く長い視野で給食について考えるべきではないかという声もある。</p> <p>また、今年3月に大磯小学校PTAが主催した「食の安全を守る人々」という映画には、大勢の保護者、農業従事者、その他環境活動に関わる人たちが集まり、食の安全に対する関心の高さを改めて感じた。</p> <p>今回は中学校給食のみならず、小学校給食も含めた学校給食について、町長の見解を問う。</p> <p>(1) 中学校給食の実施について (2) オーガニック&地産地消給食について (3) 小学校給食施設について</p> <p>2. 自然環境保全について</p> <p>大磯の魅力は緑豊かな自然だと言う人がほとんどだが、ここ数年その自然が目に見えて荒廃している。特に川や海の環境保全の大元である山林の保全は、自然災害とも大きく関係することから、迅速かつ丁寧に取り組まなくてはならない課題であると認識している。</p> <p>また、大きな問題となっているプラスチックごみについても、リサイクルやリユースに頼らず、もっと一歩進んだ取り組みが必要だと思う。</p> <p>以下の自然環境保全について、町長の見解を問う。</p> <p>(1) プラスチックごみ対策について (2) 里山の管理について (3) ハイキング道などのインフラ整備について</p> <p>3. 本庁舎及び消防庁舎の建て替えについて</p> <p>本庁舎及び消防庁舎については建て替えの計画が進んでいる。</p> <p>町長の政策集には本庁舎は耐震補強検討、消防庁舎は耐震化とある。いずれも建て替えはしないのか。町長の見解を問う。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>6</p> <p>9 番 今井 茂議員 (45 分) 17:20~18:05</p>	<p>1. 国の重要無形民俗文化財左義長について</p> <p>来年3年ぶりに行われる左義長（1月14日）の町の現在の支援状況と今後の姿勢について問う。</p> <p>(1) 経費についてどのように把握しているか。9団体の総経費は約200万円であるが、町の補助金は18万円である。これを9団体で分けると2万円である。増やすことはできないか。 (2) 左義長保存会に行政の担当者を参加させることはできないか。</p> <p>2. 日本で最初に開設された大磯海水浴場について</p> <p>コロナで打撃を受けている海水浴場の現状と課題を問う。 令和5年度の取組みと将来の展望は。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

	<p>2. 新型コロナウイルス感染症対策における教育行政対応について</p> <p>令和4年11月29日に文部科学省が県教育委員会等に対し、学校運営に当たる対処方針を変更する旨の通知を行った。この中で、学校における衛生管理マニュアルでは従前から、必ず「黙食」とすることを求めている、という記述がある。</p> <p>文部科学省がこれまで必ずしも黙食を求めているにも関わらず、大磯町で今日まで一貫した黙食やさまざまな制限を続けてきた経緯を問う。</p> <p>(1) 町立幼稚園・小中学校において、黙食を決定して以降、今日までの県対処方針変更などを受けて、黙食を緩和する決定や通知があれば伺いたい。</p> <p>(2) コロナ禍の学校及び社会活動の制限によって、子どものメンタルヘルスへの影響が懸念されている。この問題をどう拾い上げ、そしてどのように評価しているか。</p> <p>(3) PDCAサイクルの観点から、この反省をどう活かしていくか。</p> <p>3. 人道的観点によるコロナ禍の出口戦略について</p> <p>例えば、本来学校活動とは子どもが伸びやかに学びを行う場であるはずで、ルールを詰め込むのではなく、友達や教職員とのコミュニケーションを通じて社会性を身につける大切な成長過程でもある。集団運営という点では高齢者施設等にも当てはまる。</p> <p>子どもの人権擁護、人道的観点から、厚生労働省の5類指定を見据えて柔軟性措置を含めた黙食などの一刻も早い緩和と、中・昼休みが短すぎてトイレにも行けない、運動場で思いっきり遊べないなど声の多い休み時間の改善が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(1) うつ症状の増加、引きこもり傾向など、コロナ禍を取り巻く問題は多岐にわたる事から、出口戦略において人権擁護チームなどで対処すべきと考えるが現在の体制は。</p> <p>(2) 特に教育行政において出口戦略をどのように進めていくと考えているか。</p> <p>4. 要支援家庭への積極的な宅配支援について</p> <p>大磯町の総人口は減少傾向にあるが世帯数はほぼ横ばいとなっている。この数字が示すものは核家族化が進み、独居を含めた少数居住世帯が増加していることを意味する。独居や老老介護など支援が必要な高齢者世帯のほか、コロナ禍で子育て世帯にも生活困窮や子どもの虐待傾向が顕在化し始めている。高齢者世帯では公共交通の不便さや宅配事業者のニーズ不一致、子育て世帯では子ども食堂などの支援が必要家庭へ届かない等ジレンマを抱えていると聞かすが、現状認識について伺いたい。</p> <p>(1) 独居及び高齢者、子育て世帯それぞれの要支援家庭数は。</p> <p>(2) 独居及び高齢者、子育て世帯それぞれ直接訪問によって支援している施策は。</p> <p>(3) ヤングケアラーの総数把握は行っているか、どのような支援をしているか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
--	---	--

	(4) 直接訪問して日用品や弁当などの物資支援を行うことは可能か。	
12 1 番 清田 文雄議員 (40 分) 16:55~17:35	<p>1. 町長の提案する「大磯スタイルの防災」とは</p> <p>近年、地球温暖化に起因されると言われる気候変動による豪雨災害や巨大化する台風による災害が毎年のように発生している。また、数十年前後に必ず起きると言われている巨大地震など、各種の災害に対する対策は、自治体によって喫緊の課題と言える。当町でも現在までさまざまな対策がなされてきたが、町長が提案する政策集の中で「大磯スタイルの防災」ということを掲げているが、その内容について問う。</p>	町 長

1 2 名 3 0 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。